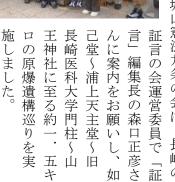
訴えました。 波止夢彩都前までパレードし、原発はいらないと思い思いのスローガンを掲げて、長崎駅前から大

集会、パレードなどを繰り広げられました。人(主催者発表)が参加。全国の二百数十カ所でも会前、東京電力本店前、経産省前などでのベ十万とものです。東京では雨の中、首相官邸前、国発)が主催する「反原発百万人大占拠」行動に呼応えの行動は、同日東京で首都圏反原発連合(反原

原爆遺構巡りを実施

如己堂~浦上天主堂~山王神社

十一月十日(土)城山憲法九条の会は、長崎の



記念館前に集まったのは、城山憲法九条の会の他、し肌寒い中、永井隆博士あいにくの曇天で少り、

まじい侵略の実態を記した まじい侵略の実態を記した まじい侵略の実態を記した まじい侵略の実態を記した



のパンフレットのような内容であることを紹介しました「あたらしい憲法のはなし」は、今の九条の会と、また、戦後間もなく小学生向けに文部省が発行記録とセットにすることでGHQが刊行を許したこ

した。



が天主堂の傍にあれたことを示す碑れたことを示す碑れたことを示す碑

功罪二つの面があるとの考えを示しました。
などを紹介し、献身的な救援活動とともに博士にはによって幾千万の人々の命が救われたと述べたことトリック信者は生贄の羊であったとして、その犠牲サの中で、原爆で亡くなった九千八百名の浦上のカることを示とともに、永井博士が原爆受難者追悼ミ



紹介しました。 その後、旧長崎医科大学(現 長崎大学医学部)では、門柱(約 長崎大学医学部)では、門柱(約 を見せ付けていることを が爆風で数度傾いたまま

く山王神社の参道にあった三引き続いて旧浦上街道に続



一 のの鳥居は、原 は残ったものの は残ったものの は残ったものの

とを紹介。二の鳥居は今も右に角度がずれたままでとを紹介。二の鳥居は今も右に角度がずれたままでとを紹介。二の鳥居は今も右に角度がずれたままでを変を残していることに、生命の不思議さたくました。の姿を残していることに、生命の不思議さたくました。さを覚えると話しました。

突入していったのかを知ること、また、被害者としの背景として、日本がどのような経緯を経て戦争ににはその人個人の体験でしかない。大切なのは、そ最後に森口さんは、戦争や被爆の証言は基本的

てだけでなく、加害者としての立場に日本があったことと無関係であってはならないと語り、昨今あからさまに憲法改正を叫ぶらさまに憲法改正を叫ぶらさまに憲法の正を叫ぶめる人のは、からないと話り、からないという。



